

「腹部大動脈瘤」の診断および治療のため当院に入院・通院されていた

患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、お手数ではございますが、研究責任者：小野滋司までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

2007 年 4 月 1 日より 2030 年 3 月 31 日までの間に、外科（血管外科）にて腹部大動脈瘤の診断および治療のため入院または通院し、診療を受けた方

2 研究課題名

慶應義塾大学外科・関連多施設ならびに全国多施設における大動脈瘤治療を解析する観察研究

3 研究実施機関

東京歯科大学市川総合病院外科、慶應義塾大学医学部外科、川崎市立川崎病院外科、水戸赤十字病院外科、さいたま市立病院外科、済生会横浜市東部病院血管外科、平塚市民病院血管外科、東京医療センター外科、東京都済生会中央病院血管外科、静岡赤十字病院、旭川医科大学、関西医科大学、湘南鎌倉総合病院、信州大学、東京慈恵会医科大学、名古屋大学、森ノ宮病院、山口大学

4 本研究の意義、目的、方法

ステントグラフト内挿術は欧米では 20 年以上の歴史があり、その特徴及び長期成績の報告はたくさんあります。しかし、本邦では、2007 年からステントグラフト内挿術が承認されたこともあり、長期成績を含め、その特徴を解析した報告はあまりありません。そこで今回、当施設および協力施設で 2007 年 4 月 1 日以降に経験した大動脈瘤治療（ステントグラフト内挿術および開腹人工血管置換術）全症例について検討し、ステントグラフト内挿術の成績を中心とした、予後および治療経過を検証いたします。

5 協力をお願いする内容

本調査におきましては、対象となる患者様の、術前または治療開始前の状態、内服薬の内容、基礎疾患、治療後の経過に関しまして、診療録などの記録を参考に調査致します。従いまして、皆様に新たなご負担をおかけすることはありません。2030年3月末までに調査を終了する予定です。本研究は多施設共同研究であり、共同研究機関でも同様の解析を行い、そこで得られたデータと比較検討しますが、情報は全て患者さんの特定ができない（匿名化データ）として、扱いますので、個人情報の漏洩の心配はありません。

6 本研究の実施期間

病院長に許可された日 ～ 2030年3月31日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1） 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、性別と年齢のみです。その他の個人情報（氏名、患者番号、住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2） 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3） 共同研究施設のデータと比較検討する際も、個人情報はすべて削除され、患者さんの特定ができない（匿名化データ）として、扱いますので、個人情報の漏洩の心配はありません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

住所：〒272-0824 千葉県市川市菅野 5-11-13

電話：047-322-0151（代表）

担当者：東京歯科大学市川総合病院 外科 講師 小野 滋司

以上